



(写真上) ホストファミリーの皆さんと記念撮影 ウェスタン・プレインズ動物園にて

着実に広がる姉妹都市交流

こうして始まった姉妹都市ダボ市との交流。平成3年美濃加茂国際交流協会(以下協会)が市民レベルの国際交流を目指して設立され、交流活動の主体は、次第に協会が中心となっていきました。

する観光スポットとなつていきます。

ダボ市への青少年派遣事業も、今年で15回目となります。引率者も含め延べ170人が、ダボ市を訪問し、交流を続けてきました。

特に平成14年には、市民の皆さんのご協力により、ダボ市内にあるエリザベス公園内に、「日本庭園「逍遙園」と茶室「寿里庵」が完成しました。

今年度のダボ市派遣団(以下派遣団)は、村瀬富美子団長以下12人が、7月28日名古屋国際空港を出発、空路ダボ市へ。現地では、ホストファミリー

現在、この庭園は、姉妹都市の友好のあかしにとどまらず、「Dubbo-Minokamo Sister City Garden」として、ダボ市を代表

(注) の家庭にホームステイし、8月9日帰国までの13日間、派遣団は市民レベルでの親善と友好の絆を深めてきました。

美濃加茂国際交流協会とは

美濃加茂国際交流協会(板頭芳樹会長)は、世界の人たちと、教育・文化・産業・経済などあらゆる分野での交流を促進し、友好の絆を深め、市民の国際意識の高揚を図り、世界平和に寄与することを目的に平成3年に設立されました。

協会は、ダボ市青少年派遣事業のほか、来訪される外国人に日本の生活を体験していただくホームステイボランティア活動、地域に住んでみえる外国人との共生に向けたシンポジウムの開催など、地域の「国際化」と「多文化共生社会づくり」に大きく寄与しています。

(注) ホストファミリー：滞在中派遣団員を受け入れてくれる家族